



市内を3エリアに分けて予約制で運行するデマンドバスぬまくるの実証実験が始まりました。「ぬまくる」命名者の星野羽奏さん(利根商業高・現3年、写真左)も参加し、テープカットを行いました。運賃の決済には沼田市電子地域通貨tengooも使えます。



ベトナムやカナダなど出身で利根沼田在住の5人が、日本での暮らしや夢・目標などについて日本語でスピーチしました。



濃いめの桜色が愛らしい。



芸術を通じて市の魅力を発信するヌマタ・アート・アンバサダーに篠笛能管奏者の富澤優夏さん(高橋場町)が委嘱されました。



利根町園原出身の新井耕吉郎は、台湾の日月潭で台湾紅茶の発展に貢献し、その功績から「台湾紅茶の父」と呼ばれています。満開の桜の下、耕吉郎の孫である桜井克義さんと親族一同が式典に参加しました。台湾からはビデオメッセージで祝福の言葉が贈られました。



桜と川のせせらぎに癒されます。



舒林寺・天野純一住職、総代をはじめ檀家の皆さんから100万円の寄付がありました。日本赤十字社を通じてウクライナ支援に活用されます。



井波彫刻の南部白雲氏(木あそび工房・富山県南砺市)による「情緒ある町並みをつくる、守る」をテーマで開催しました。



国指定天然記念物の名勝「吹割の滝」で、神職と観光関係者などが観光客の安全を祈願しました。



台湾紅茶の父・新井耕吉郎の胸像が移設されて見どころが増えました。